

グループ〈話のアトリエ〉は  
ハンセン病について考える  
機会を提供します。

# 大島で 話のアトリエ をひらく

話のアトリエ参加料  
無料

官有船（大島行）乗船料  
無料

写真：香川県高松市庵治町 国立療養所大島青松園

〈第1回〉 11月05日（土）

## チェロを聴く

演奏：三星渚

かつて日曜日ごとに人びとが集まった礼拝でうた  
われた讃美歌とクラシックの佳曲をチェロで聴く。

〈第2回〉 11月12日（土）

## 大島を歩く

案内：阿部安成

療養所がつくられた大島の歴史を歩いてたどる。  
史料にもとづいた大島の歴史解説を聞く。

〈第3回〉 11月19日（土）

## 『小島の春』を観る

解説：石居人也

1940年に上映された映画『小島の春』（小川正子  
『小島の春』原作）に隔離の仕組みを観る。

〈第4回〉 11月26日（土）

## 大島を語る

話者：森和男、阿部安成、石居人也 ほか

人数減少と高齢化が進む療養所のこれからをディ  
スカッションする。

会場：国立療養所大島青松園キリスト教霊交会教会堂  
主催：グループ〈話のアトリエ〉代表者 石居人也（一橋大学教授）  
共催：大島青松園キリスト教霊交会、国立療養所大島青松園入園者協和会（自治会）  
事務連絡：滋賀大学経済経営研究所（ファックスまたは電子メールのみ）

お申し込みについては裏面をご覧ください

# 国立療養所大島青松園は、香川県高松市庵治町にある ハンセン病をめぐる国立療養所です。

## ■申し込みについて

かならず事前に、滋賀大学経済経営研究所（業務時間は月曜日から金曜日までの9:00～17:00）に、Eメール（[ebr@biwako.shiga-u.ac.jp](mailto:ebr@biwako.shiga-u.ac.jp)）か、ファックス（0749-27-1397）で申し込んでください。電話や郵便での申し込みは受け付けません。

申し込みはかならず、各回開催日前々日の木曜日16:00までにしてください。それ以降の申し込みには対応ができません。

■申し込みは各回ごとに必要です。

■Eメールのばあいは、件名に「大島〈話のアトリエ〉出席」と入力し、ファックスのばあいは、「大島〈話のアトリエ〉出席」と明示してください。

どちらのばあいも、かならず、出席者ごとに①氏名、②連絡先、③出席する講演会の日付、を明示してください。

質問があるばあいは、それを記入してかまいません。

■申込者にはかならず、Eメールまたはファックスで返信をします。申し込みのEメールまたはファックスの送信から72時間が過ぎても返信がないばあいは、通信事故の恐れがありますので、再度申し込みをしてください。

日程などが変更となるばあいは、上記②にご記入いただいた連絡先にご連絡します。

■いったん申し込んだのちにキャンセルをするばあいは、その連絡は不要です。

■連絡先の個人情報は、本件にかかわる案内の連絡以外には使用しません。

## ■大島への移動について

高松港の第一浮棧橋から出ている大島行の官有船（無料）に乗船します。グループ〈話のアトリエ〉のスタッフが同乗します。

■第1回、第2回、第4回は、高松港発14:00の船に乗り、大島発16:30の船で高松港へもどります。第3回のみ高松港発11:15発、大島発15:00となります。乗船時間はおよそ20分です。乗船時刻を厳守してください。

■高松での宿泊や、高松港までの経路については、必要に応じて、各自で手配や確認をしてください。

■飲みものは、必要に応じて、大島に渡るまえに、各自で用意してください。大島では飲食物の提供ができません。空きペットボトルなどのゴミは、かならず持ち帰ってください。

■防寒のための衣類などは、かならず各自で用意してください。会場には暖房のエアコンがあります。ただし、教会堂内は一般家庭のように快適な空間ではありません。時節柄とても寒いときがあるかもしれません。

■〈話のアトリエ〉会場では記録を残すために、録音と録画をします。ただし、出席者が特定できるような公開はしません。